

平成 27 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

1. 学校概要

学校名 北九州市立尾倉中学校

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫教育
☒ 中学校 ☐ 中高一貫教育 ☐ 高等学校
☐ 教員養成 ☐ 技術/職業教育
☐ 特別支援学校 ☐ その他 ()

所在地 〒805-0059
北九州市八幡東区尾倉三丁目 10 番 1 号

E-mail ogura-j@kita9.ed.jp

Website _____

児童生徒数 男子 76 名 女子 75 名 合計 151 名
 児童・生徒の年齢 12 歳～15 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- ☐ 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- ☒ 国際理解
- ☐ 世界遺産
- ☒ 平和・人権
- ☒ 環境
- ☐ 気候変動
- ☐ 生物多様性
- ☐ エネルギー
- ☒ 防災
- ☒ 食育
- ☒ 伝統文化
- ☐ そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

環境教育、国際理解教育を中心として、人権教育、防災教育、キャリア教育などに研究を広げ、関連させながらE S Dを推進することができた。

○ 生徒会を中心とした環境美化活動と3 R活動（平成 15 年より継続）

- ・ 毎週火曜日に学校周辺の地域清掃を行った。
- ・ 書きそんじハガキ回収、古紙、ペットボトルキャップ、空き缶、プルタブ回収などは常時行っている。

○ 学校行事に位置づけた環境美化活動（毎年）

- ・ 皿倉山清掃登山（5月）
- ・ 地域清掃（6月、9月）

○ 人権・平和教育の実施（毎年）

- ・ 7月15日(水)に平和学習を行った。
1・2年生は八幡大空襲、3年生は世界で起こっている地域紛争について学んだ。3年生は調べ学習にも取り組み、文化活動発表会では、地域ごとにまとめた壁新聞を作成し、展示を行った。

○ 環境・人権講演会の開催（毎年）

- ・ 12月8日(火)に「栗城史多講演会」を行った。
人間の特権は、夢や目標を持つことができること。夢の大小、叶う、叶わないは重要ではない。あきらめないで努力することが重要である。「成功の反対は何もしないこと。行動することで何かができる。」とあきらめない生き方について話を聞くことができた。

○ 国際理解教育の実施

- ・ 1月19日(木)に九州海外協力協会の職員と海外青年協力隊員OGを講師に招き、国際理解教育を行った。
1・2年生は参加型研修「地球の食卓」で様々な国の写真を見て、衣食住などの様子を知り、日本とは異なる暮らしぶりに気づいた。また、「海外青年協力隊体験談」では海外のゴミ問題について聞き、環境について考えた。
3年生は参加型研修「貿易ゲーム」を経験。5～6人の班に分かれ、それぞれの班を国と考え、国同士が貿易するというゲームを行った。国ごとに異なる条件の下、生徒たちは貿易をしながら自分の国をいかに発展させるかを考えた。「教育に力を入れたらいい」「軍事力を持った方がいい」などいろいろな考えが出てくる一方で、資源のある国から略奪しようとする行為もあり、ふりかえりの時間には「これが現実の世界だったら戦争になると思った。」「他の国と同盟を結んで、一緒に発展していこうという考え方がいいと思った。」などの意見も出た。
この学習を通して、各学年の生徒が国と国との関係を深く考えた。

○ ユネスコスクール全国大会への参加

- ・ ユネスコスクール全国大会へ参加し、情報を収集することができた。

○ 校長通信「おぐら」の作成および地域への配布

- ・ 環境教育、国際理解教育を中心にした本校の取組を紹介する校長通信「おぐら」を月1回作成し、保護者や地域へ活動をアピールした。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

■ 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

☐ 時間外活動の時間を使用

☐ ユネスコクラブの活動として実施

☐ その他（ ）